



青少年の更生後押し

「BBS会」八学大生が発足

八戸市の八戸学院大学の学生が23日、青少年自立のための支援活動を行うボランティア団体「BBS会」を

BBS会を発足させた八学大の学生

学が社会福祉士プログラム履修者や健康科学コースの学生ら3、4年生の16人で構成。BBSは「Big Brothers and Sisters Movement」の略。非行少年の兄・姉のような身近な存在となり、立ち直りを支援する運動を指す。

学生によるBBS会は青森市や弘前市の大学があるが、八戸市で結成されたのは初めて。八戸地区更生保護サポートセンターや県BBS連盟と連携して、中高生の学習支援や、明るい社会にするための広報活動に参加する。

同大学で行われた設立発足会で、会長の三谷香澄さん（人間健康学科3年）は「地域のために役立つ活動をした」と抱負を述べた。来賓の青森保護観察所の本平利幸所長は「保護司の高齢化が進んでおり、若い学生が仲間入りして活動するのはありがたい」と激励した。同会は、他大学とも交流したり、情報交換を図っていく方針だ。

（月館慎司）